

# ～冬の北海道撮影 服装と撮影機材について～



クラブツーリズム公式キャラクター「くまぶー」



※空港到着後、撮影する前までに着替え、機材の準備する時間お取りします。

## 【服装】

アウターに関しては、スポーツショップや登山アイテムを扱っているお店で売られているウィンターウェアを選ぶと間違いありません。ただ、厚着するだけでは汗をかいてかえって冷えてしまう場合もありますので、通気性のよいインナーと重ね着で対応し、必要に応じて温度調整できるとよいです。

## 【靴】

凍った路面、または雪道を歩いての撮影も想定されるため、履きなれた冬靴をご準備ください。靴は数年履いていないと劣化してゴムなどが切れやすく駄目になっている場合がありますので出発前にご確認ください。

荷物にはなりますが、通常の靴と冬靴をそれぞれお持ちいただいて履き替えた方がよいです。

## 【その他防寒対策】

使い捨てカイロ、手袋、厚手の防止(ニット帽)、ネックウォーマー、サングラス等(雪山では照り返しが強いいため)もご用意ください。

手袋に関しまして厚手のグローブのようなものがよいです。手袋がないと最悪、凍傷になる場合があります。厚手の手袋をつけるとカメラ操作がしづらくなるというお声もありますが、グローブでも操作できるカメラを選んだ方がベターです。

日没後、夜間、早朝の撮影がある場合はヘッドライトもしくはペンライトなど手元を照らすものがあると便利です。

## ～撮影機材等について～

### 【カメラ】

メイン機に加え、急なトラブル備えてサブ機の用意があると安心です。

### 【レンズ】

高倍率ズームレンズまたは標準ズームレンズが基本装備です。さらに風景、星景撮影メインの方は広角レンズ、動物・乗り物など動く被写体撮影メインの方は、望遠レンズをお持ちいただくと表現の幅が広がります。オオワシやタンチョウなど撮影するにどれくらいの焦点距離のレンズが望ましいかお問合せを多く受けます。目安35mm判換算で300mm～400mm、それ以上の超望遠レンズがあればなおよいです。テレコンバーターの使用やクロップ撮影など工夫されて撮影されている方もいらっしゃいます。なお、ツアー毎に原則レンズ指定はありません。

### 【SD(SDHC/SDXC)カード、予備のバッテリー・チャージャー】

CFカード・XQDカードのみ対応機種もありますのでご自身のカメラをご確認ください。寒冷地では、バッテリーの消耗が激しいため、予備があると安心できます。現地で購入するお時間は設けておりませんので忘れないようにご注意ください。

### 【三脚・レリーズ】

風景、星景、夜景、マクロ撮影等で活躍します。

羅臼のクルーズ乗船撮影時に超望遠でブレやすいため、一脚か三脚を使用したいというお問合せも受けます。他の方の妨げにならない範囲で船の通路などでの使用は可能ですが、撮影状況が刻々と変化したり、船のエンジンの振動などもあるため手持ち撮影の方が多いです。

### 【フィルター】

PL(偏光)、ND(減光)フィルターは風景写真と好相性です。必要に応じてご用意ください。

### 【夜間、早朝撮影を伴う場合】

寒冷地・高湿度の場所では、レンズにくもりや結露が起きますのでレンズヒーターがあると便利です。使い捨てカイロやタオルで包むことで代用できます。結露を防ぐためには、冷えたカメラを少しずつ暖かい温度に慣らすことが必要です。暗い場所では手元を照らす懐中電灯またはライトは必需品です。赤いセロファンを貼っておくと光を和らげる効果もあります。

### 【クリーニングキット類】

屋外は雪・雨、チリや砂埃が多いため、機材が汚れやすくなります。画質低下を避けるためにも機材周りのチリや水滴を飛ばすブローアールがあると役立ちます。